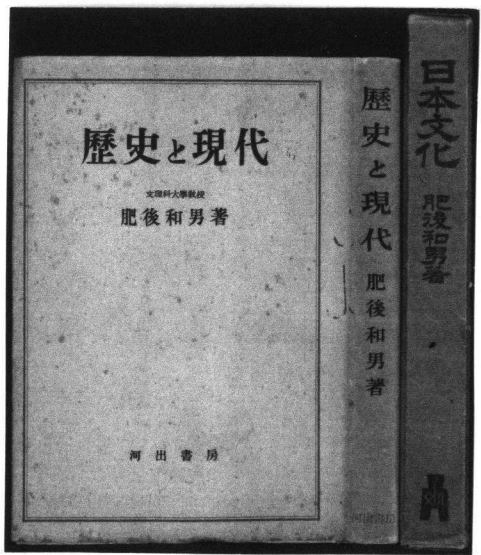


肥後和男 （肥後） 國史學者、文學博士。明治二十二年四月八日茨城縣生れ、昭和五十六年二月二十四日没（八九一―一九八二）。昭和二年京都府國文學部國史學科卒。東京文理科大學教授、東京教育大學教授歴任。文化史専攻。

- 著書 『國史教授學』（昭和十一年十一月十七日成美堂書店）『現代教育學大系各科篇』（昭和十四年八月七日弘文堂書店）、『古代精神』（昭和十五年十月十九日河出書房）、『日本文化の性格』（合著・司法保護協會「昭徳」編輯部編、昭和十六年七月十五日文録社）、『皇國世界史』（合著・勤勞者教育中央會編、昭和十八年九月二十日白雲書店）『新國民文化叢書』（『歴史と現代』（昭和十九年四月）二十日河出書房）、『藤田東湖』（昭和十九年八月二十日新潮社）『日本思想家選集』（『天皇制の成立』（昭和二十一年六月二十日河出書房）、『日本心、原始信仰の研究』（昭和二十二年十一月五日東海書房）、『日本心、山岳信仰の歴史』（山岳信仰研究會編輯、昭和二十四年六月二十五日神社新報社）『山岳信仰叢書』（『日本の神話』（昭和二十六年八月二十日河出書房）『市民文庫』（『茶―私の見方』（合著、昭和二十八年五月五日春秋社）、『袖武天皇神元論―紀元節の正しく見方』（合著・日本文化研究会編、昭和二十二年二月二十一日と花書房）、『日本のゆけぼの―建國と紀元をめぐって』（合著・二宮啓吉著）編、昭和二十四年



二月五日光文文柱「カッパ・ブックス」、
「水戸学」明治維新』(昭
和四十二年十月)二十日茨城・常磐神社明治百年記念事業奉賛会)、
「崇
神天皇」(昭和四十九年八月十五日秋田書店)等。